



Corporate guide

社長挨拶
message



取締役社長

市川圭司

「人と暮らしの幸せのために 技術ができること、技術者ができること」 その無限の可能性を追求して

新家工業は、創業以来培ってきたロールフォーミング技術を駆使し、モノづくり企業として、「世の中の課題をカタチに変える」ことで、時代や環境の変化に対応し、世の中のニーズに応じて多種多様な鋼管・型鋼製品等を製造・販売して参りました。これらの製品は、建築関連や自動車関連をはじめ生活に密着した幅広い場面・用途で使用されております。

当社は、経営理念を形あるものにするため、既存の技術を活かすとともに新技術の開発にも積極的に取り組み、技術の可能性を信じて新たな価値を創造し、社会の発展に資する企業づくりを行って参ります。さらに、企業として多様性を受容するとともに社会的責任を果たし、環境の保護をはじめ社会の持続可能性に配慮した事業活動を継続することで様々なステークホルダーの皆様と協働して持続可能な社会の形成へ貢献することを目指して参ります。



ARAYA INDUSTRIAL CO., LTD.

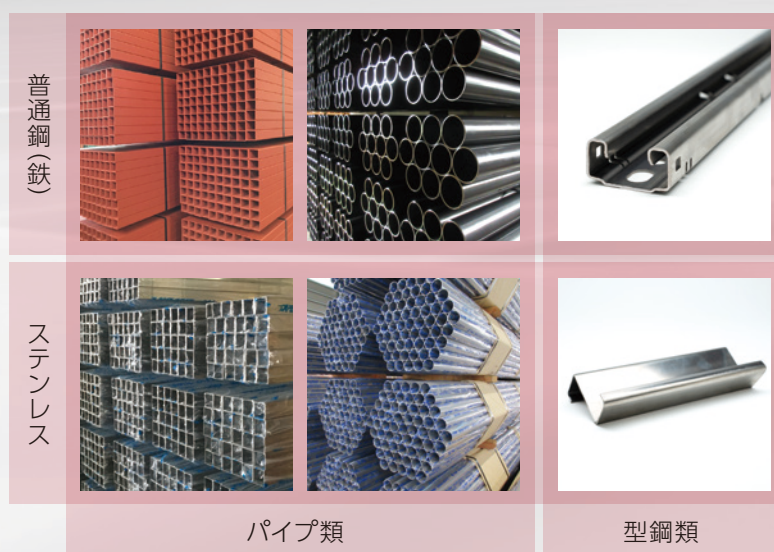
経営理念
philosophy



常に技術と品質の向上に努め創造と革新に挑戦する
公正かつ誠実に企業運営し社会の発展に貢献する
自然と調和し国際社会と共生する

お客様を大切にし株主・取引先との相互繁栄をはかり従業員の福祉向上を目指す

鉄鋼業の中で高炉メーカー等が製造した鋼材を加工、
多種多様な溶接鋼管を製造する
鋼管メーカーならではの強みがあります。



生産・取扱品

鋼管(パイプ)は、普通鋼の小径から中径サイズの丸管・角管が主力です。型鋼は、普通鋼、ステンレス共に多種多様な形状の製品を生産しています。



鋼管・型鋼
約**6,000**
種類の製品を
販売

販売経路

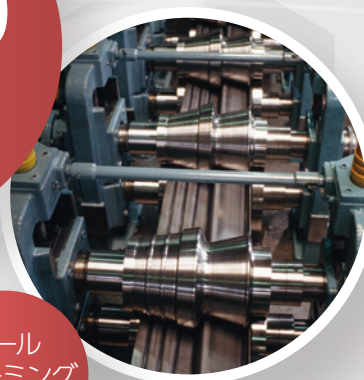
商社・
流通業者等



加工業者等の
お客様



鋼管・型鋼
約**2,000**
種類の製品を
生産



ロール
フォーミング
技術

丸く造管されたパイプを、
後段ロールにより、丸形、
正方形、長方形、異形など
得たい形状に成形。

鋼管関連事業、自転車関連事業、不動産等賃貸事業の
3つの事業セグメントで構成されており、長年培ってきたロールフ
100年企業としての伝統と蓄積を活かし、それぞれの事業活動を

01



鋼管関連事業

主力事業であり、鋼管・型鋼製品を製造・販売しております。
生産財として使用されている製品が中心であり、
直接目に触れる機会は多くはありませんが、
普段の生活に密着した様々な場面で利用されております。

建築関連



住宅向鋼管



物流倉庫

自動車関連



シートレール



キャビンフレーム部材

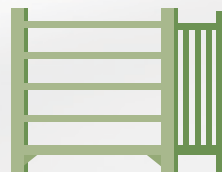
その他



鉄道車両用部材



階段手すり



物流パレット



ビニールハウス部材

オーミングの技術力と
行っております。

02



自転車関連事業

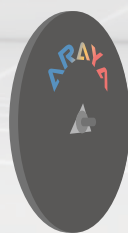
創業時からの事業であり、「ARAYA」「RALEIGH」ブランドのスポーツ車を設計・製造・販売するとともに「POLYGON」ブランドの自転車を販売しております。また、スポーツ車用の自転車用リムの製造・販売および競技自転車用のディスクホイールの開発・製造・販売を行っております。



完成車



自転車リム



ディスクホイール



03



不動産等賃貸事業

CRE(企業不動産)戦略として、主に事業用定借として保有する土地の賃貸事業を行っております。





リムから鋼管、そして新分野へ。 アラヤの挑戦はどこまでも続きます。

1903年、石川県山中町で創業者新家熊吉が日本で初めて
木製リムの製造に成功したことからアラヤの歴史は始まりました。失敗を恐れず、
技術者としてのこだわりを貫き通したその精神は、現在まで確実に受け継がれています。

1919 (大正8年)

11月25日株式会社組織に改め、
商号を「新家自転車製造株式会社」
とする。



1930



1933 (昭和8年)

名古屋市南区に名古屋工場を
建設、リムの生産を開始。



1940

1944 (昭和19年)

本社を大阪市西淀川区竹島町に移転。

1946 (昭和21年)

関西工場で完成自転車
「ツバメ号」の生産を開始。



1931 (昭和6年)

東京都大田区に東京工場を建設、
同所を本社工場として
リムの生産を開始。



1937 (昭和12年)

大阪市西淀川区に国内最大の
リム生産能力を持つ関西工場を建設、
商号を「新家工業株式会社」と改める。



1948 (昭和23年)

福岡県久留米市に九州工場を建設、
リムの生産を開始。

1949 (昭和24年)

大阪証券取引所に株式を上場。

1950

1951 (昭和26年)

石川県山中町に山中工場を再建、
リムの生産を開始。



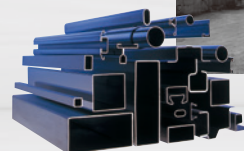
1957 (昭和32年)

名古屋工場隣接地に鋼管工場を建設、
電縫鋼管・型钢の生産を開始。



1959 (昭和34年)

関西工場に鋼管製造設備を新設、
電縫鋼管・型钢の生産を開始。



1960

1960 (昭和35年)

角型鋼管、異型钢の販売のため
合弁会社「岩井特殊パイプ(株)」を設立。
「ツバメ号」自転車販売のため、
「ツバメ自転車販売(株)」を設立。

1961 (昭和36年)

東京証券取引所・名古屋証券取引所
第一部に株式を上場。

1965 (昭和40年)

大阪市南区(現中央区)に「新家ビル」
を建設、本社を同所に移転し同時に
不動産の賃貸業を行う。

1969 (昭和44年)

千葉県成田に千葉工場を建設、
電縫鋼管の生産を開始。



1970

1971(昭和46年)

インドネシアにおいて
リム生産のための合弁会社
「P.Tパブリックアラヤインドネシア」
を設立。昭和51年ジャカルタに
工場を建設、リムの生産を開始。



1972(昭和47年)

子会社「(株)新家開発」を設立、
不動産の売買および賃貸業を開始。

1975(昭和50年)

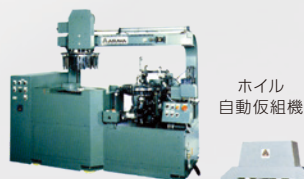
ツバメ自転車販売(株)を
母体として「(株)アラヤ」を設立、
全国に営業所を展開。



1980

1985(昭和60年)

ホイール組自動化システム、
自転車用リム製造プラントなど、
機械の外販を開始。



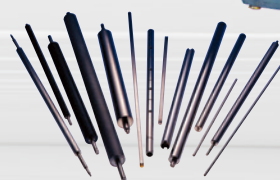
1986(昭和61年)

固芸用ハウス、農耕用ホイール、
型钢などの製造販売のため
「(株)アラヤ工機」を設立。



1988(昭和63年)

関西工場において
OA機器用精密加工品の生産を開始。



1990

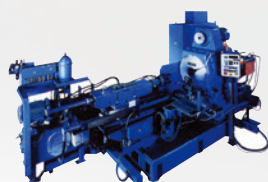
1993(平成5年)

研究開発部門で福祉機器の
開発および販売を開始。



1994(平成6年)

特品機械部門で一般産業機械の
生産および輸入販売を開始。



1999(平成11年) 経営理念を制定。

2000

2000(平成12年) 関西工場 鋼管部門IS09002認証取得。

2001(平成13年)

名古屋工場 鋼管部門および
千葉工場 IS09002認証取得。

2002(平成14年)

関西工場 IS014001認証取得。
車椅子用サスペンション車輪
「アブソレックス」の販売を開始。

2003(平成15年)

全工場 IS09001認証取得。(2001年度版統合)英国ラレー社と、
ブランドライセンス契約。ラレーブランドの完成自転車の販売を開始。

2004(平成16年)

全社 IS014001拡大認証取得。
名古屋工場において自動車用
シートレールラインの稼働を開始。



2005(平成17年)

千葉工場において「STKパイプ」を生産開始。
電動ユニット型車椅子用「アブソレックス」の生産・販売を開始。

2006(平成18年) 名古屋工場においてチタンアングルの生産を開始。

2010

2013(平成25年)

インドネシアにおいて、海外における
鋼管製造拠点である合弁会社
「PTアラヤスチール
チューブインドネシア」を設立。



2014(平成26年)

東京都江東区に
「アラヤ清澄白河ビル」を建設。

2018(平成30年)

鋼管部門の業績拡大を図るため、
「ステンレスパイプ工業(株)」の
株式を追加取得、連結子会社化。

2019(令和元年)

関西工場の倉庫および
事務所・厚生棟の新築。



本社を中心に各拠点が
独自性の高い活動を
展開しています。

【本社ビル】▶

1973年8月竣工のアラヤ本社ビル。



◀【関西工場】

1937年、主力工場として建設。
主に鋼管を生産しています。

【名古屋工場】▶

1933年、リム製造を目的に建設。
現在、鋼管や特殊型鋼を生産しています。
また、新分野の商品開発に取り組んでいます。



◀【千葉工場】

増大する関東地区の鋼管需要に
対応するため、1969年に建設。
高速造管機を備える鋼管専用工場です。

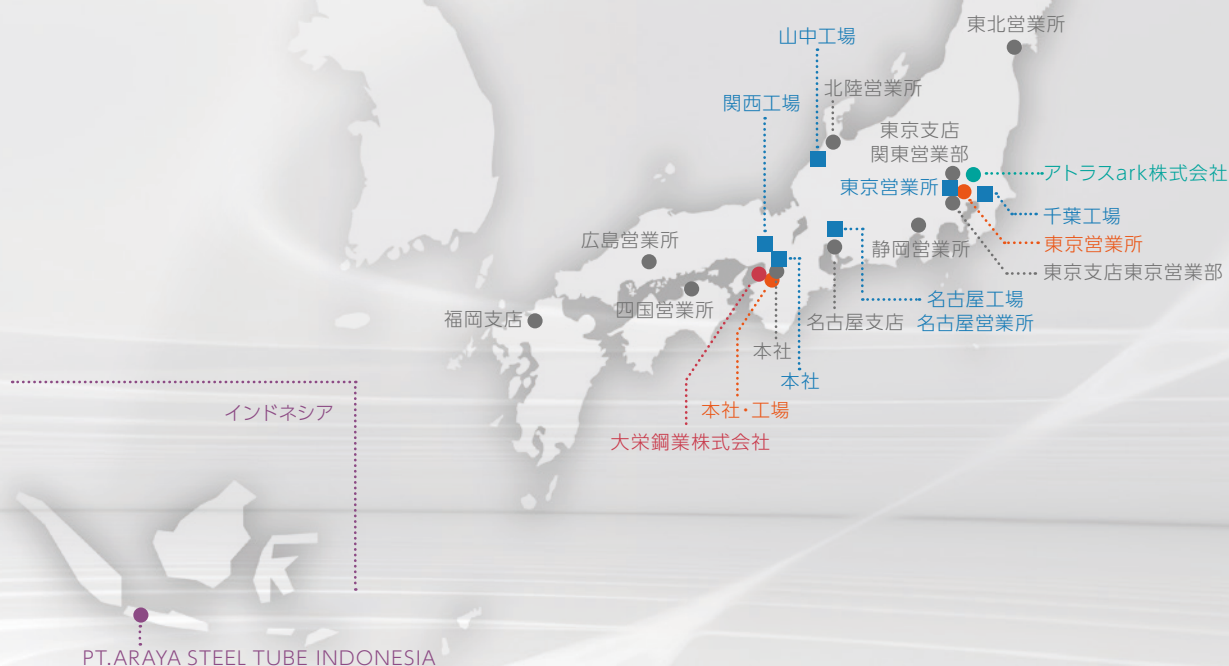
【山中工場】▶

当社発祥の地にある工場です。
日本で初めて金属製リムを開発。現在、主に
ステンレス鋼管とリムを生産しています。



【アラヤグループ】

- 新家工業株式会社
- アラヤ特殊金属株式会社
- 大栄鋼業株式会社
- ステンレスパイプ工業株式会社
- アトラスark株式会社
- PT.ARAYA STEEL TUBE INDONESIA



[PT.ARAYA STEEL TUBE INDONESIA]

日系企業の現地調達ニーズに応えるとともに、今後の成長が見込まれるインドネシア市場に参入するために、PT.アラヤスチールチューブインドネシアを設立、鋼管を生産しています。

新家工業株式会社
ARAYA INDUSTRIAL CO., LTD.



<https://www.araya-kk.co.jp>